

日時 平成28年4月28日(木) 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

## 1 被害の状況

1 ページ 地震の状況と天気の見通し・・・後程气象台からお願い

2 ページ 被害の状況等

人的被害：死者、行方不明者 前回報告から変更なし

重傷者、軽傷者 分類未確定も含め、1,491名

住家被害：調査継続中であるが、全壊、半壊、一部破損合計で31,613棟

避難の状況：28市町村で避難所474箇所、避難者数33,613人 前日比3,266名減少

避難指示の発令状況：避難指示8市町 避難勧告11市町村

## 2 県等の対応状況

(総務部)

人的支援をまとめている

(企画対策部)

航空機：阿蘇くまもと空港 本日56便が運航予定

(健康福祉部)

保健師チーム70班、全国知事会の救護班チーム33班で各避難所の健康・保健・衛生管理に努めている。

在宅の障害者の状況把握：日本相談支援専門員協会並びに日本障害フォーラムなど全国組織で状況調査を準備中。

仮設住宅への対応：13市町村から建設の要望。また、検討中、協議予定が3町村民間賃貸住宅借り上げ：本日各市町村から資料配布、受付を開始。

高齢障害者等への宿泊施設の提供：55組118人

妊産婦：保健医療チームが一時避難が必要と判断した場合について、児童入所施設等への受け入れを調整中。(23組対応可)。

連休中も、平日通り、御船、上益城、宇城、阿蘇の各保健所・福祉事務所で相談対応受付を継続。

義援金の本日現在の総額24億8千万円余。5/2(金)、第1回配分委員会を開催予定で配分対象・基準等の方針の検討を進めている。

(環境生活部)

○自然公園の被害

草千里園地、かぶと岩展望所、菊池溪谷園地で立入規制

○水道の状況

大津・菊陽水道企業団の断水地域では、明日29日通水試験予定。益城では、漏水調査が難航中。

○災害廃棄物について

屎尿処理について全国各市・自衛隊の支援により収集・処理を実施中。大阿蘇環境センターが一部処理を再開。熊本市の災害廃棄物は、佐世保市と佐賀市が処理開始。

益城町の災害ごみ仮置場は、第一仮置き場は、明日29日午後からの搬入受入れ再開を決定。

(商工観光労働部)

詳細は省略する

(農林水産部)

内水面施設で被害が発生し、コイなどの養殖魚の死亡が発生。熊本市の白川河口で濁水状態にある。

(土木部・国土交通省)

建築物応急危険度判定：14市町村中10市町村で完了。30日までに終わるよう努力中。

河川（県管理107.6km）・土砂災害危険箇所（1,100か所）の点検調査が完了。

九州自動車道の通行止め区間（植木IC～嘉島JCT）を明日29日に一般開放。

(教育庁)

県立高校では、宇城と八代で5月2日から6校が再開

(県警本部)

立野地区での捜索活動は午後から天候回復により実施、発見には至っていない

特定非常災害の指定により、被災者の権利保護のため、免許証の有効期限が4/14～9/30のものは延長

### 3 国等の対応状況

(自衛隊)

給水、給食、入浴等の支援は、減少傾向にあり。

(海上保安庁)

港における給水支援を実施、減少傾向にあり。

(消防庁)

立野の道路啓開作業の後方支援

(九州電力)

阿蘇市、高森町、南阿蘇村では、発電者からの電力供給

昨日、仮の送電線も完了。明日、全て作業完了。

(西部ガス)

都市ガス（低圧）の復旧戸数は、81,473戸、復旧率は80.8%。

(気象庁)

震度1以上の地震観測回数が、本日1,000回を超えた。増減を繰り返しているが、本日は震度4のやや強い揺れも発生しており、引き続き警戒が必要。明日29日朝、内陸・山沿いは冷え込みに注意。

### 4 現地対策本部長の発言

(酒井政務官)

今の気象庁からの話があったが、昨日、あと5日したら1000回超えてしまうのではないかという話をしたが、既に超えていたという状況。まだ落ち着いていない、十分な警戒をしてもらいたい。

今日は、阿蘇市と西原村に行ってみて。そこで感じたのは、避難者も不安の中、お疲れの様子だったが、水道のことを言われた。水道が回復すれば家に帰って片づけもできるし、生活もできるということを切実に言われた。水の復旧を市民の皆様が望まれていることなので、早急な復旧をお願いしたい。

もう一つは、仮設の住宅。いろいろとお話をしながら、「お体の調子の悪い方は県も努力をして、政府も努力して色んなところから借上げをして準備をしているので、どうぞそちらに移ってください」という話をすると、やはり、そこで住みたいという思いが強い。何とか仮設住宅を作ってくださいということであった。

阿蘇市の場合は、半壊、全壊の数が少しずつであるが、まだ増えてきている状態がつづいている。仮設の数も、これからの数字を読むときに、少し考えながらやっていかなければならないということを感じた。

それから、JRさんをお願いしたい。阿蘇市で、JRが止まっているので、バスの代替とお願いしているとのことであるが、そのあたりのお答えをお願いしたい。

それから、教育委員会さん。文科省からデータを頂いた。大変なご苦労があったと思うが、全ての状況のデータを頂いた。

明日、ゴールデンウィークに入っていく。色々な問題、課題も出てくると思うが、よろしくをお願いしたい。

## 5 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

連日、捜索を続けているが、依然として1名の方の所在がわからないまま。一刻も早い救助を心から願っている。

4月14日夜から続いている一連の地震が、ついに1,000回を超えた。発災から2週間が経過しても、一向に収まらない余震に、ストレスを感じておられる方も多いと思うが、警戒だけは怠らないようお願いしたい。

発災直後、10万人近くおられた避難者数が、昨日の時点で4万人を切った。

ライフラインの復旧等に伴い、多くの方が自宅に戻られたことなどが、主な理由と考えている。

しかしながら、3万人を超える方々が避難所生活をされている。この避難状態を解消するためには、「すまい」の確保が第一。

一日も早く安心・快適な「すまい」で暮らせるよう、迅速に対応して参りたい。

本日、国において、今回の地震を「特定非常災害」に指定する閣議決定がなされた。感謝申し上げる。また、明日からは、石井国土交通大臣が現地視察においてになるとお聞きしている。被災したインフラの復旧等に関して、幅広く意見交換ができればと思っている。

さらに、本日、一般社団法人全国銀行協会様から、「被災者の方からの債務相談に関し

て、事情に応じた丁寧な対応を行う」など、五つの項目からなる対応方針のお知らせがあった。

被災者の方々への生活再建支援の動きが広がっていることに、改めて感謝申し上げます。

県においても、昨日の発表のとおり、専決処分により366億円の予算措置を行っている。

これに国などの御支援も加え、特に緊急性の高い、「被災者の救済・生活支援」、「産業復興支援」、「社会・産業インフラの機能回復」の3点を中心に、迅速な復旧・復興に取り組んで参る。

一日も早い復旧・復興を目指して、「チームくまもと」として一緒に頑張っていきたいと思います。

また、資料11ページ、12ページの、早稲田大学が作成した「学生震災ボランティアの心得10か条」は、災害対策本部でも参考にすべき内容だと感じたので、資料として掲載している。

(以 上)